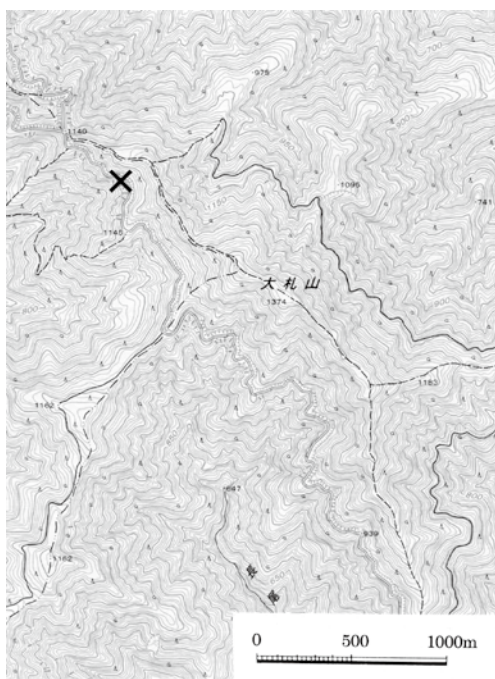


C013訂正版 枕状溶岩(浜松市天竜区大山西中腹)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長島, 昭 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024759

C013 訂正版 枕状溶岩 (浜松市天竜区大山西中腹)



国土地理院 1 : 25,000 蕎麦粒山

榛原郡川根本町上長尾にあるガソリンスタンドの所から、南赤石林道に入って尾呂久保を通り、悪路を約14 km進むと、右側に「林班421」と「林班422」の境を示す標識がある。このあたりは広葉樹林で緩やかな頁岩の斜面だが、その先約50mの所に岩壁が現われる。この岩壁の右端には直径約40 cm、長さ1 m余の枕状溶岩が左に傾いて見えている。その右には長さ1 m余、直径約50 cmの枕状溶岩の断面が出ており、層状構造や放射状の割れ目などが観察できる。少し離れた左上にも枕状溶岩の断面が出ている。この枕状溶岩を含む地層は白亜紀系の四万十帯に属し、約1億年前に海底火山の噴出によってできたものである。

(長島 昭)